



平成27年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年6月5日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東
 コード番号 9636 URL http://www.kin-ei.co.jp
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)丸山 隆司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)好井 裕一 (TEL) (06) 6632-4553
 四半期報告書提出予定日 平成26年6月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第1四半期の業績(平成26年2月1日～平成26年4月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第1四半期	838	5.5	43	38.9	58	109.4	26	75.4
26年1月期第1四半期	795	5.5	31	362.1	27	437.3	15	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第1四半期	9 54	—
26年1月期第1四半期	5 44	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年1月期第1四半期	5,138	1,645	32.0
26年1月期	5,169	1,647	31.9

(参考) 自己資本 27年1月期第1四半期 1,645百万円 26年1月期 1,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0 00	—	10 00	10 00
27年1月期	—				
27年1月期(予想)		0 00	—	10 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,500	△4.7	30	△40.6	30	△31.7	10	△58.0	3.58
通期	3,200	△0.5	100	△9.7	100	1.6	50	△5.0	17.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年1月期1Q	2,821,000株	26年1月期	2,821,000株
② 期末自己株式数	27年1月期1Q	30,853株	26年1月期	30,848株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年1月期1Q	2,790,148株	26年1月期1Q	2,790,798株

当社は、平成25年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。発行済株式数（普通株式）は、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたものと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策と日銀による金融緩和策を背景とした企業収益の改善に加え、消費増税前の駆け込み需要もあり、個人消費を中心に堅調に推移しました。また、平成26年3月7日の「あべのハルカス」全面開業による、阿倍野地区来街者の増加により、当社の事業におきましても好調に推移しました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業におきましては、“アナと雪の女王”が記録的な大ヒットとなったほか、“永遠のゼロ”“ドラえもん”“土竜の唄 潜入捜査官 REIJI”“抱きしめたい”“名探偵コナン”などの話題作を上映するとともに、引き続き「アポロシネマメンバーズ」の会員獲得による販売促進活動を積極的に推し進めたことにより、収入合計は、396,979千円（前年同期比18.0%増）となり、営業原価控除後のセグメント利益におきましても16,108千円（前年同期は4,974千円のセグメント損失）を計上することができました。

不動産事業におきましては、昨年、ルシアビル事務所テナントにおきまして大型の退去がありましたため、後継テナントの積極的な誘致活動を進めておりますが、このセグメント全体の収入合計は441,870千円（前年同期比3.8%減）となり、セグメント利益につきましても、101,673千円（前年同期比10.0%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高合計は、838,850千円（前年同期比5.5%増）となり、費用の面におきましても全社において諸経費全般に亘って削減に努めたため、営業利益は43,130千円（前年同期比38.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間における総資産は、短期貸付金の減少等により前期末に比較して31,200千円減少し、5,138,547千円となりました。負債は、借入金の返済等により、前期末に比較して29,077千円減少し、3,493,090千円となりました。また、純資産は、配当金の支払い等により利益剰余金が減少したため、前期末に比較して2,122千円減少し、1,645,457千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月期の業績予想につきましては、平成26年3月11日に「平成26年1月期決算短信（非連結）」にて公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,152	84,808
売掛金	92,364	109,146
商品	3,458	3,706
その他	514,209	387,519
貸倒引当金	△150	△150
流動資産合計	688,035	585,031
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,262,825	2,305,393
機械及び装置(純額)	66,969	64,202
工具、器具及び備品(純額)	71,171	73,627
土地	1,123,748	1,123,748
有形固定資産合計	3,524,714	3,566,971
無形固定資産	61,592	60,014
投資その他の資産		
差入保証金	859,555	892,132
その他	35,849	34,397
投資その他の資産合計	895,405	926,530
固定資産合計	4,481,712	4,553,516
資産合計	5,169,748	5,138,547
負債の部		
流動負債		
買掛金	100,983	109,067
1年内返済予定の長期借入金	378,920	706,920
未払法人税等	66,254	26,900
賞与引当金	10,100	22,000
その他	465,867	528,352
流動負債合計	1,022,125	1,393,239
固定負債		
長期借入金	388,500	10,040
退職給付引当金	71,206	72,553
受入保証金	1,653,736	1,636,833
資産除去債務	275,713	276,759
その他	110,887	103,664
固定負債合計	2,500,043	2,099,850
負債合計	3,522,168	3,493,090

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,162,750	1,161,453
自己株式	△105,908	△105,921
株主資本合計	1,645,197	1,643,887
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,381	1,569
評価・換算差額等合計	2,381	1,569
純資産合計	1,647,579	1,645,457
負債純資産合計	5,169,748	5,138,547

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)
売上高	795,432	838,850
営業原価	687,462	721,067
営業総利益	107,969	117,782
一般管理費	76,922	74,652
営業利益	31,047	43,130
営業外収益		
受取利息	400	820
受取和解金	-	14,970
雑収入	945	2,350
営業外収益合計	1,346	18,142
営業外費用		
支払利息	4,662	3,221
雑支出	5	5
営業外費用合計	4,667	3,227
経常利益	27,725	58,045
特別損失		
固定資産除却損	1,420	15,170
特別損失合計	1,420	15,170
税引前四半期純利益	26,304	42,875
法人税、住民税及び事業税	24,000	26,000
法人税等調整額	△12,865	△9,729
法人税等合計	11,134	16,270
四半期純利益	15,170	26,604

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(平成25年2月1日から平成25年4月30日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	336,314	459,118	795,432	—	795,432
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	336,314	459,118	795,432	—	795,432
セグメント利益又は損失(△)	△4,974	112,944	107,969	△76,922	31,047

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(平成26年2月1日から平成26年4月30日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	396,979	441,870	838,850	—	838,850
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	396,979	441,870	838,850	—	838,850
セグメント利益又は損失(△)	16,108	101,673	117,782	△74,652	43,130

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。